



みなみ小だより

学校教育目標

学び合う子

助け合う子

鍛え合う子

学校だより 2月号
鹿沼市立みなみ小学校
TEL 0289-75-4021
令和2年2月発行
文責：後藤 勝浩

感謝する心は謙虚さから…

●令和元年度も残すところ一か月余りとなりました。学校でも卒業の季節を迎え、巣立って行く卒業生や学び舎に感謝する心を育てる場面が多くなります。

子どもたちも、6年生を送る会や卒業式、卒業までの活動の中で、一人一人がしっかりと考えて言動に表すことと思います。

その感謝する心には、相手を認め受け入れる謙虚さが必要です。これは、現代の大人社会においても大切なことだと言われています。

松下幸之助の言葉に、次のようなものがあります。

◆素直な心というものは、だれに対しても何事に対しても耳を傾ける心である。

◆素直な心というものは、すべてに対して学ぶ心で接し、そこから何らかの教えを得ようとする謙虚さを持った心です。



そのような心が育つ“みなみ小学校”であるように努力してまいりたいと思います。

学校評議員会【学校関係者評価委員会】

●2月5日（水）に、学校評議員会（学校関係者評価委員会）を開催しました。2学期に実施した学校評価[自己評価]の結果について説明するとともに、本校教育の取組や子どもたちの様子について協議させていただきました。

評議においては、たくさんの貴重な御意見をうかがうことができました。今後も、すべての子どもにとって学校が楽しく、自己存在感が感じられ、勉強がよく分かる授業を目指して努力してまいりたいと思います。



予告なし避難訓練を実施しました。

●2月14日（金）のいきいきタイムに、予告なしの避難訓練[総合訓練]を行いました。低学年児童も、きちんと放送を聞いて速やかに避難することができました。

突然やってくる災害に対して、その状況に応じて、自ら判断して命を守る行動がとれるように、今後も訓練の充実を図っていききたいと思います。



外部人材を活用して、学習の充実を図っています。

昔からの遊び大会 ～1年生～

●2月10日(月)、生活科の学習で「昔からの遊び大会」を行いました。1年生の祖父母を“昔からの遊びの先生”として招き、遊び方を教えていただきました。

あやとり・こま回し・お手玉・けん玉・おはじきの5つの遊びについて、遊び方を教えていただきながら楽しく学習することができました。



モンゴルについての学習 ～2年生～

●モンゴリアンビレッジ、かぬま教育支援ネットワーク薬(ひこばえ)の皆様を講師にお招きして、モンゴルについての学習を行いました。

モンゴルの生活についてのスライドショーを見たり、民族衣装を試着したりと楽しい活動でした。最後には馬頭琴の演奏があり、国語の「スーホの白い馬」についての学びにつながりました。



認知症サポーター養成講座 ～4年生～

●1月23日(木)、2名の社会福祉士の方を講師にお招きして、認知症サポーター養成講座を行いました。認知症について詳しく知ることができたので、認知症サポーターとして学んだことを実際の生活で生かしてほしいと思います。



能と狂言 ～6年生～

●2名の講師をお招きして、かんたん楽しい入門講座「能と狂言」を行いました。能と狂言を比べながら、分かりやすく解説していただきました。最後には、扇子、面、太鼓や笛を体験させていただき、貴重な経験ができました。



新入生保護者説明会

●2月13日(木)、本校の新入生保護者説明会を行いました。資料に基づいて説明を行った後、役員等の選出をしていただきました。

来年度入学する新入生は25名。全児童数は若干減りますが、本校ならではの教育を来年度も推進してまいりたいと思います。

お子様の入学を心よりお待ちしております。



視察受入れ

●2月17日(月)、県内外からの教育視察受け入れを行いました。取り出し学習のパワーアップタイムの取組と1年生のことばの授業を参観していただいたり、本校の早期支援体制やMIMを活用したことばの指導について説明をしたりしました。

